

# 令和3年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
小学部	<b>【学校目標】</b> 教育課程に基づいた指導と評価の一体化  <b>【下位組織レベル】</b>  教科について、個々の児童の目標を明確にした指導を推進する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
		①-1 教員の70%以上が、個別の指導計画の目標において、「教科の目標を明確にできた」と回答する。  ①-2 個別の指導計画の2・3学期の教科の目標について「目標に十分達している」「目標に達している」という評価が、80%以上になる。  ①-3 保護者アンケートから「学習の目標や内容が適切である」という評価を、小学部の保護者の80%以上から得られる。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①-1 各児童において、個別の指導計画の目標設定や評価についての、ケース会を年間5回以上行う。  ①-2 児童の教科の目標を明確にするために、対象児童についてグループごとに、実態把握のための検討会を行う。  ①-3 児童の実態や、教科についての目標を共通理解し、次年度の国語と算数の年間目標について、反映させる。  ①-4 参観日に、保護者アンケートを実施する。				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
中 学 部	<b>【学校目標】</b> 安心・安全な学校づくり  <b>【下位組織レベル】</b> 専門家の助言などを教育活動に活かし、安心・安全な学校生活を送れるように体制の見直しを図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
		①-1 年度末に授業に関するアンケートを実施し「専門家の助言を取り入れ、安心・安全に活動できた」という評価を、中学部の教員の90%以上から得られる。 ①-2 保護者アンケートから「安心・安全な学校生活を送れている」という評価を、中学部保護者の80%以上から得られる。		(所見)	
		活動計画	活動計画の実施状況		
		①-1 自立活動の学習として、からの時間における指導、食事に関する指導などを実施するにあたり、専門家の助言を受け指導に反映させる。 ----- ①-2 指導に入る教員間で支援の方法や留意事項についての共通理解を図るとともに、学部会で生徒の状況報告を行い、学部の教員間で共通理解を図る。 ----- ①-3 個別のケースについて、緊急時の対応マニュアル（医ケア等に関する）を必要に応じて個々に作成、または見直しを行う。 ----- ①-4 個別の緊急時の対応マニュアルを作成するにあたっては、担任だけではなく学校看護師も含めた複数名で作成する。 ----- ①-5 参観日に保護者アンケートを実施する。			

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
高  等  部	<b>【学校目標】</b> G I G Aスクールの推進  <b>【下位組織レベル】</b>  I C T機器を活用し、少人数によるきめ細やかな指導を通して「個に応じた指導」の充実を図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
		①-1 年度末に I C T機器の活用・指導に関するアンケートを実施し「個に応じた指導の充実が図られた」と回答した教員が 80 %以上になる。 ①-2 校内や学部内での研修会への参加が、80 %以上になる。		(所見)	
		活動計画	活動計画の実施状況		
		①-1 長期休業中（臨時を含む）にオンラインでの接続を実施し、学習支援や生徒の状況等を確認する。 ----- ①-2 情報課と協力し、I C Tを活用した授業の先行事例を紹介するなどし、生徒一人一人に最適な学習アプリや教材・教具を提供する。 ----- ①-3 進路指導の一環として、テレワークによる就業体験を実施し、在宅就労で必要な力について理解を深める。			

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
総務課  <b>【学校目標】</b> 安心安全な学校づくり  <b>【下位組織レベル】</b> 保護者とともに安全な避難体制の整備を行う	評価指標  ① 参観日に来校した保護者の 80%以上が避難訓練と引き渡し訓練に参加し、アンケートで「防災訓練に参加して良かった」に 80%が回答する。 ----- ② 新しく作成した防災カードの医療的ケアの様式についてアンケートを実施し、改善点を把握し改良する。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
	活動計画  ①-1 参観日に校内の避難訓練と、災害時を想定して通学生の保護者への引き渡し訓練を実施する。 ----- ①-2 保護者に訓練についてのアンケートを実施する。 ----- ②-1 新防災カード医療的ケア様式について、教職員と保護者に「記入しやすさ」「見やすさ」「使いやすさ」についてアンケートを実施する。	活動計画の実施状況	(所見)		

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
教  務  課	<b>【学校目標】</b> 教育課程に基づいた指導と評価の一体化  <b>【下位組織レベル】</b> 教育課程に基づいた授業に取り組み、児童生徒のニーズや学習段階に応じた指導の推進を図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
		① 各教科の目標や学習内容を年間指導計画に記述し、年間を通じてケース会で確認し活用する。 ----- ② 教員アンケートで、年間指導計画を活用し授業実践ができた、児童生徒の学習段階に応じた目標の設定ができたの2項目に、80%以上の教員ができたと回答する。		(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①-1 学習指導要領で児童生徒の学習段階を確認して目標を設定し、学習内容を計画する。 ----- ①-2 ケース会の前に、学習評価や授業の進捗状況を確認して授業の見直しができるよう年間指導計画の活用を働きかける。 ----- ②-1 1,2学期末に全職員にアンケートを実施する。 ----- ②-2 アンケートから課題を明らかにし、研修に反映させたり教育課程の検討につなげたりする。				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
研  究  課           ※自立活動実践シートは、自立活動の指導計画のことである。	<b>【学校目標】</b> 教職員の専門性の向上とチームとしての学校づくり  <b>【下位組織レベル】</b>  自立活動実践シートに基づき自立活動の指導目標や指導内容を明確にし、実態に即した指導を行う。	評価指標  ① 「2・3学期の自立活動の指導目標・内容及びその設定理由を、担任の説明により理解することができた」と70%以上の保護者が回答する。 ----- ② 2・3学期の自立活動の参観時に「教員は目標（今から何の学習に取り組むか）を、子どもにわかるように伝えることができていた」と70%の保護者が回答する。 ----- ③ 「全校研究グループ会において、評価から指導を検証し改善することができた」と70%の教員が回答する。	評価指標の達成度           活動計画  ①-1 新規赴任者研修・希望研修「自立活動」、「自立活動実践シートの作成」で基本的内容を伝達し、「自立活動実践シートのポイント～課題を関連付ける～」では演習形式の研修を実施する。 ----- ①-2 作成した自立活動実践シートを教頭がチェックした後、各グループで再度明確化する。 ----- ② 2学期から月1回、自立活動の授業中に取り組むべき目標を児童生徒にわかるように伝えられているか、各教員が自己チェックを行う。 ----- ③-1 全校研究ワーキング会で評価から指導を見直す手続きを整え、周知する。 ----- ③-2 2学期中に各グループで自立活動実践シートに基づいた評価を行い、指導を見直す。	総合評価 (評定)           (所見)	

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
人権進路課  <b>【学校目標】</b> 家庭や地域と連携協働した教育の実践  <b>【下位組織レベル】</b> 保護者や外部関係機関との連携を図り、保護者や教職員の人権・進路についての意識の向上や人権教育・進路指導の充実を図る。	評価指標  ① 研修会後や年度末のアンケートにおいて、保護者・教員の80%が「意識が高まった」「参考になった」等と回答する。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
	② 人権や進路に関する外部関係機関と連携した取組を年間に5回以上実施する。		活動計画		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①-1 人権については小松島市人権推進課、あいぼーと徳島、進路については福祉施設等の関係機関と連携し、保護者や教員を対象とした研修会を実施する。 ①-2 人権や進路について、保護者や教員のニーズやコロナ禍等の状況に応じて実施できる方法を検討し、研修会開催や人権進路通信による情報提供を行う。 ②-1 人権の花運動、中高生人権交流集会等への参加、キャリア教育出前授業、リモート進路学習等の外部関係機関と連携した取組を実施する。				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
<b>【学校目標】</b> GIGA スクールの推進 <b>【下位組織レベル】</b> Zoomなどを積極的に利用し感染症予防に努めながら交流及び共同学習を推進する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
	① Zoomを用いた交流及び共同学習において、実施後に担当教員へアンケートをとる。具体的に有効だと思われる部分について意見をもらい、各校の児童生徒にとって有効であったと70%以上が回答する。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①-1 Zoomの積極的利用を呼びかける。 ①-2 Zoomを用いた交流学習の実施について交流校へ依頼する。 ①-3 交流校とZoomでの学習内容を検討する。 ①-4 実施後にアンケートを実施し、次年度以降や有事の場合に生かせるようにする。				
<b>【学校目標】</b> 安心・安全な学校づくり <b>【下位組織レベル】</b> 学校全体の行事について、安心して児童生徒、保護者が参加できるように、教職員が工夫して取り組む環境を整える。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
	① 体育祭と文化祭のアンケートで、昨年度の課題をそれぞれ1つ以上改善できる。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①-1 教職員へ早い段階で方向性を示す。 ①-2 昨年度の課題点について課会で洗い出し、改善策を検討する。 ①-3 職員会議において全体で協議してもらおう。 ①-4 実施後にアンケートを実施し、改善点について意見を聞く。				

特別活動  
運動課

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指と活動計画	評価		学校関係者の意見	
支援課  <b>【学校目標】</b> 家庭や地域と連携協働した教育の推進  <b>【下位組織レベル】</b> 関係機関と連携をとりながら、肢体不自由に関する専門的な支援を行い、肢体不自由教育の理解啓発を図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
	① 特別支援学級担任者研修会（肢体不自由）参加の学校や過去に相談があった肢体不自由児が在籍する学校等の児童生徒の様子や学校の困り感について 80%以上聞き取ることができる。			(評定)	
				(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況			
①-1 地域の関係諸機関に年度当初のあいさつ回りやチラシの配付をし、肢体不自由児に関する情報を収集する。 ----- ①-2 特別支援学級担任者研修会（肢体不自由）参加の学校や過去に相談があった肢体不自由児が在籍する保育所・幼稚園・学校のコーディネーター等に連絡を取る。 ----- ①-3 児童生徒の様子や学校の困り感等について聞き取り、電話相談、来校相談、巡回相談などの教育相談事業を行う。 ----- ①-4 わくわく教室やパワーアップ事業の公開研修会を計画・実施し、地域のセンター的機能の充実を図る。					

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
保健環境課	【学校目標】 安心・安全な学校づくり	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	【下位組織レベル】 健康の維持・促進や体調管理につとめ、安心・安全な環境作りを行う。	① 感染症予防や緊急時の対応について発信し、児童生徒が安心・安全に過ごせる環境を整えるため、下記項目を80%以上達成する。 1 毎月、感染症対策や予防について呼びかける。 2 毎月、健康観察表を配付する。 3 緊急対応訓練を年2回実施する。 4 医ケアが3つ以上ある通学生の個別の緊急対応マニュアル作成率を70%以上にする。 5 GIGA スクール構想に関するハンドブックを1学期中に作成する。			
		活動計画	活動計画の実施状況		
		①-1 掲示板で、感染症対策や健康に関する情報を発信する。 ①-2 毎月配付して、児童生徒および教員の体調管理を促進する。 ①-3 課内で計画し、学部会に提案して担当者と協議し、訓練を実施する。 ①-4 医ケアが3つ以上(修学旅行時保護者同伴条件)ある通学生に作成を呼びかける。 ①-5 情報課をはじめ関係教員と相談して作成し、各学級での活用を促す。			
保健環境課	【学校目標】 家庭や地域と連携協働した教育の推進	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	【下位組織レベル】 新学校版環境 ISO の目標達成に向け、地域と連携した教育を推進する。	① 地域(家庭を含む)や外部人材と連携し、環境保全に対する意識の向上を目指し、下記項目を80%以上達成する。 1 地域での「ゴミ0運動」を年3回以上実施する。 2 地域の中で、エシカル啓発活動を年3回実施する。 3 藍染め体験を年2回実施し、藍染め作品を展示する。 4 植栽交流の中で、校章花壇の植え替えを年2回行う。 5 広報や活動の様子を年5回以上発信する。			
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
		①-1 年度当初に各学部会で説明し、ゴミ0運動を推進する。必要な道具の準備を行う。保護者参加日を設定する。 ①-2 地域と綿密に連絡調整し、児童生徒に参加を呼びかけ、サポートする。 ①-3 年度当初に計画を立て、社会人講師や関係教員との連絡調整をする。 ①-4 勝浦校の担当教員と相談し、校内に呼びかけて中庭の環境を整備する。 ①-5 チラシ作成や活動記録を行い、本			

校ホームページで案内する。

自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
<b>【学校目標】</b> GIGA スクールの推進 <b>【下位組織レベル】</b> GIGA スクールにおける学習者用端末の学習環境を構築する。	評価指標 ①-1 80%以上の学級で学習者用端末を用いた学習活動を年間2回以上実施する。 ①-2 病棟生が、本人の学習用端末を使って学習活動ができるように、一人につき1つ以上、学習アプリや教材を入れる。	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①-1 端末貸与及び利用の規程や書類様式を策定し、学習端末の利用手続きやルール等の運営体制を構築する。			
	①-2 各端末のデータベース及びクラウドのアカウント等の管理・保全体制を整える。			
	①-3 80%以上の学級が zoom で1回以上ホストとなることができ、オンラインでの学習活動が展開できるよう手引き書の作成や研修を行う。			
①-4 本校教員や GIGA サポーターと連携して学習端末及び ICT 機器の活用方法について放課後や夏季休業中に校内研修会を開催する。				
①-5 ICT 機器の活用方法や教材の作成について、各教員からの相談に応じ、協働で教材作りを行う。				

情報課